



平成25年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年12月14日
上場取引所 大

上場会社名 株式会社 銚子丸
コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀地速男
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 越智 洋 TEL 043-350-1266
四半期報告書提出予定日 平成24年12月28日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年5月期第2四半期の業績（平成24年5月16日～平成24年11月15日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第2四半期	8,538	△0.3	380	47.2	395	43.3	224	82.7
24年5月期第2四半期	8,565	△1.3	258	△52.0	275	△50.8	122	△54.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第2四半期	77.28	—
24年5月期第2四半期	42.30	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年5月期第2四半期	7,409	4,495	60.7	1,548.53
24年5月期	7,446	4,349	58.4	1,498.24

（参考）自己資本 25年5月期第2四半期 4,495百万円 24年5月期 4,349百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	0.00	—	27.00	27.00
25年5月期	—	0.00			
25年5月期（予想）			—	27.00	27.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年5月期の業績予想（平成24年5月16日～平成25年5月15日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,726	4.6	938	4.6	974	5.2	572	31.5	197.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年5月期2Q	2,903,600株	24年5月期	2,903,600株
25年5月期2Q	273株	24年5月期	273株
25年5月期2Q	2,903,327株	24年5月期2Q	2,903,327株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要を背景として、緩やかな回復の動きが見られた一方で、欧州を中心とした世界経済の停滞、日中関係の悪化、米国経済の回復の遅れ、さらには電力供給の制限や厳しい雇用情勢により、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましても、消費者の生活防衛意識の高まりや節約志向は依然として根強く、これにより外食各社の低価格競争が一層激しくなる等引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況において、当社は経営理念に掲げる「私達の『真心』を提供し、お客様の『感謝と喜び』を頂くことを私達の使命と致します。」に基づいた「おいしい舞台」作りのために、「飽きの来ない旬の食材」「鮮度」「海の香り」「魚屋の精神」「番屋の雰囲気」を追求するとともに、「おいしい舞台」を完成させるために、「親切・思いやり・誠実さ」に溢れた接客・サービスを愚直に実践し、「お客様のご要望に対して、何が足りないのか」を常に考え、全社一丸となってお客様に愛される店舗づくりに邁進いたしました。

店舗開発につきましては、当第2四半期累計期間における出退店はなく、当第2四半期会計期間末の店舗数は79店舗となっております。

販売促進につきましては、銚子丸らしい商品の拡充と時節の食材によるイベントの継続的開催を実施し、特に産地直送による「番屋の雰囲気」づくりに注力するとともに、「5貫500円セット」の充実を図り、低価格志向のお客様の来店動機高揚に努めてまいりました。

しかしながら、当第2四半期累計期間における既存店売上高は前年同期比95.7%にとどまり、売上高は85億38百万円（前年同期比0.3%減）となりました。一方利益面に関しては、前年同累計期間における震災・天候不順等による原材料価格の上昇が落ち着きを取り戻したことで、経費削減努力により、営業利益3億80百万円（同47.2%増）、経常利益3億95百万円（同43.3%増）、四半期純利益2億24百万円（同82.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ36百万円減少し、74億9百万円（前事業年度末比0.5%減）となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ58百万円増加し、44億17百万円（同1.4%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金の減少1億37百万円及び原材料及び貯蔵品の増加1億90百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ95百万円減少し、29億92百万円（同3.1%減）となりました。これは、減価償却等による店舗設備の減少によるものです。

(負債・純資産)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ1億82百万円減少し、29億13百万円（前事業年度末比5.9%減）となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ1億54百万円減少し、22億64百万円（同6.4%減）となりました。主な内訳は、未払金の減少2億17百万円及び未払法人税等の減少1億16百万円ならびに納税資金として調達した短期借入金の増加1億60百万円であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ28百万円減少し、6億48百万円（同4.2%減）となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ1億45百万円増加し、44億95百万円（同3.4%増）となりました。主な内訳は、当第2四半期累計期間の四半期純利益2億24百万円及び第35期期末配当金の支払78百万円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して1億37百万円減少し、33億16百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は78百万円（前年同期は3百万円の獲得）となりました。これは、税引前四半期純利益3億94百万円及び減価償却費1億32百万円による資金の獲得、ならびにたな卸資産の増加額1億90百万円及び法人税等の支払額2億84百万円による資金の使用によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億12百万円（前年同期は2億8百万円の使用）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出58百万円、無形固定資産の取得による支出38百万円、敷金及び保証金の差入による支出14百万円による資金の使用によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は53百万円（前年同期は2百万円の使用）となりました。これは短期借入金の純増加1億60百万円による資金の獲得ならびにリース債務の返済による支出28百万円及び配当金の支払額77百万円による資金の使用によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、売上高187億26百万円、営業利益9億38百万円、経常利益9億74百万円、当期純利益5億72百万円を見込んでおり、現時点で変更はございません。

今後の見通しにつきましては、引き続き「すし銚子丸」業態に事業領域を集中し、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県の一都三県に出店地域を特化して新規出店を推進してまいります。第36期（平成24年5月16日から平成25年5月15日まで）の新規出店数は、6店舗を計画しております。

但し、当社では、新規出店に際しては店舗の採算性を重視しているため、計画した店舗数に見合った出店候補地を十分に確保できない場合や、食材に係る安全性の問題、市況変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年5月15日)	当第2四半期会計期間 (平成24年11月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,861,048	3,723,427
売掛金	11,416	11,498
原材料及び貯蔵品	212,636	403,065
預け金	78,049	80,437
その他	195,295	198,973
流動資産合計	4,358,446	4,417,401
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,119,270	1,077,603
その他(純額)	533,014	483,712
有形固定資産合計	1,652,285	1,561,315
無形固定資産		
投資その他の資産	63,144	63,252
敷金及び保証金	779,030	776,577
建設協力金	324,327	303,265
その他	269,890	288,730
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,372,170	1,367,494
固定資産合計	3,087,600	2,992,063
資産合計	7,446,046	7,409,465
負債の部		
流動負債		
買掛金	862,883	883,669
短期借入金	90,000	250,000
未払金	884,040	666,206
未払法人税等	302,352	185,430
賞与引当金	72,700	85,300
株主優待引当金	26,921	28,152
その他	180,520	166,171
流動負債合計	2,419,417	2,264,929
固定負債		
資産除去債務	163,121	164,058
長期未払金	359,700	359,700
その他	153,925	124,901
固定負債合計	676,746	648,659
負債合計	3,096,164	2,913,589

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年5月15日)	当第2四半期会計期間 (平成24年11月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	3,797,885	3,943,864
自己株式	△636	△636
株主資本合計	4,350,028	4,496,007
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△146	△132
評価・換算差額等合計	△146	△132
純資産合計	4,349,882	4,495,875
負債純資産合計	7,446,046	7,409,465

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年5月16日 至平成23年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年5月16日 至平成24年11月15日)
売上高	8,565,082	8,538,459
売上原価	3,582,835	3,476,190
売上総利益	4,982,247	5,062,268
販売費及び一般管理費	4,724,029	4,682,228
営業利益	258,217	380,039
営業外収益		
受取利息	2,819	2,582
協賛金収入	14,613	11,395
その他	5,066	5,184
営業外収益合計	22,499	19,161
営業外費用		
支払利息	2,932	2,025
現金過不足	1,657	1,224
その他	169	551
営業外費用合計	4,759	3,801
経常利益	275,957	395,399
特別損失		
固定資産除却損	—	1,286
減損損失	45,901	—
店舗閉鎖損失	3,611	—
特別損失合計	49,512	1,286
税引前四半期純利益	226,445	394,113
法人税等	103,621	169,744
四半期純利益	122,824	224,368

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年5月16日 至 平成23年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年5月16日 至 平成24年11月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	226,445	394,113
減価償却費	125,444	132,378
減損損失	45,901	—
店舗閉鎖損失	3,611	—
建設協力金と相殺した地代家賃・賃借料	22,844	23,144
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,600	12,600
受取利息及び受取配当金	△2,828	△2,591
支払利息	2,932	2,025
固定資産除却損	—	1,286
売上債権の増減額(△は増加)	2,324	△81
たな卸資産の増減額(△は増加)	47,423	△190,428
仕入債務の増減額(△は減少)	△232,023	20,785
未払消費税等の増減額(△は減少)	△20,149	△13,568
その他	41,727	△172,357
小計	274,253	207,307
利息及び配当金の受取額	700	578
利息の支払額	△2,870	△2,027
法人税等の支払額	△268,406	△284,678
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,677	△78,819
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△413,952	△383,767
定期預金の払戻による収入	413,715	383,651
有形固定資産の取得による支出	△161,996	△58,440
無形固定資産の取得による支出	△4,767	△38,000
長期前払費用の取得による支出	△12	—
敷金及び保証金の差入による支出	△27,010	△14,174
敷金及び保証金の回収による収入	2,823	2,992
建設協力金の支払による支出	△17,000	△5,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△208,199	△112,737
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	600,000
短期借入金の返済による支出	△400,000	△440,000
リース債務の返済による支出	△25,538	△28,564
配当金の支払額	△77,087	△77,614
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,625	53,820
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△207,147	△137,736
現金及び現金同等物の期首残高	3,131,156	3,454,139
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,924,009	3,316,403

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。